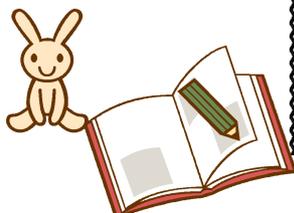


家庭学習の手引き

1 学習の進め方

- ①学校からの手紙を渡す。
- ②つくえの周りを整とんする。
- ③テレビやゲーム、音楽を消す。
- ④学校の宿題をする。
- ⑤自主学習や読書をする。
- ⑥つくえの上を片づける。
- ⑦次の日の準備をする。



<学習時間のめやす>

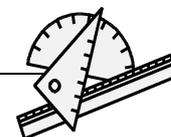
1年生	20分以上
2年生	20分以上
3年生	30分以上
4年生	40分以上
5年生	50分以上
6年生	60分以上

2 各学年で身につけたい力（主に国語・算数）

	国語	算数
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の持ち方に気をつけて、丁寧に文字を書くことができる。 ・ひらがな、かたかなが読めて書ける。 ・新出漢字（80字程度）が読めて書ける。 ・文としてのまとまりをとらえて、はっきりとした発音で音読することができる。 ・「は」「へ」「を」を適切に使って文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1けたや簡単な2けたのたし算やひき算ができる。 ・長さや大きさを比べることができる。 ・時計の時刻を読むことができる。



	国語	算数
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの既習漢字と新出漢字（160字程度）が読めて書ける。 ・まとまりをとらえて、内容が分かるように音読することができる。 ・丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気をつけ、書いたり話したりすることができる。 ・「<input type="text"/>」を正しく使って会話文を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算やひき算の筆算ができる。 ・かけ算の意味が分かり、九九を用いて計算ができる。 ・正方形、長方形、直角三角形について理解できる。 ・長さやかさなどの単位が分かり、測定できる。



	国語	算数
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの既習漢字と新出漢字（200字程度）が読めて書ける。 ・内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読することができる。 ・ローマ字の読み書きができる。 ・国語辞典を正しく使って言葉の意味や使い方を調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わり算の意味を理解し、あまりのあるわり算ができる。 ・整数のかけ算の筆算ができる。 ・小数や分数の意味や表し方を理解し、簡単なたし算やひき算ができる。 ・長さや重さの単位の間係を理解し、計器を使って正しく測定することができる。

	国 語	算 数
4年生	<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの既習漢字と新出漢字（200字程度）が読めて書ける。 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読することができる。 相手や目的に応じて、筋道を立てて話したり、段落に分けて文章を書くことができる。 漢和辞典を使って調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> わり算の意味を理解し、あまりのあるわり算ができる。 小数や分数のたし算やひき算ができる。 面積の意味や単位を理解し、面積や角度を求めることができる。 折れ線グラフの読み方や書き方が分かる。 平行四辺形やひし形などの平面図形、直方体などの立体図形について理解する。

	国 語	算 数
5年生	<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの既習漢字と新出漢字（185字程度）が読めて書ける。 内容に応じた声や速さで朗読する。 目的や意図に応じて考えたことや伝えたいことを話したり、文章構成を考えて書いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小数のかけ算、わり算ができる。 異分母分数のたし算、ひき算ができる。 面積や体積を求めることができる。 単位量あたりの大きさ（割合・速さ）について理解する。

	国 語	算 数
6年生	<ul style="list-style-type: none"> 前年度までの既習漢字と新出漢字（181字程度）が読めて書ける。 聞き手が内容を味わえるように朗読する。 調べたことが伝わるように、段落相互の関係に気をつけて文章を書くことができる。 短歌や俳句、古典などに親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 分数のかけ算・わり算の意味を理解し、計算することができる。 立体（角柱・円柱）の体積を求めることができる。 縮図や拡大図、対称な図形が分かる。 比や比例の意味を理解し文字を使って式に表すことができる。

1 自主学習の内容例

○漢字練習・音読・視写・意味調べ・読書・日記 ○計算練習・文章問題

○授業の復習・予習 ○興味があることの調べ学習 ○テスト勉強 等

